

曾我祐準の略歴『曾我祐準翁自叙伝』から抜粋

1843 (天保 14)	12月25日誕生
1864 (元治元)	長州戦争に出陣
1865 (慶応元)	通称を「準造」と改める 英式練兵伝習のため長崎に遊学
1866 (慶応 2)	上海などを航海し航海術を修める (1867まで)
1868 (明治元)	藩の汽船千別丸船長を命じられる 4月海軍御用掛になる
1873 (明治 6)	2月任陸軍少将 6月叙正 5位 10月 神田駿河台に転居
1877 (明治 10)	2月西南戦争に際し征討第4旅団長 拝命
1881 (明治 14)	谷干城・鳥尾小弥太・三浦梧楼と ともに国憲制定を上奏
1884 (明治 17)	7月勲功により子爵を授けられる
1886 (明治 19)	3月兼任参謀本部次長 7月補陸軍士官学校長 (9月辞職)
1888 (明治 21)	明宮 (後の大正天皇) 御教養主任となる
1889 (明治 22)	11月任東宮大夫 叙勲一等賜瑞宝章 6月任宮中顧問官
1891 (明治 24)	12月貴族院議員補欠選挙当選 (1915まで25年間務める)
1893 (明治 26)	3月立花家家憲創定のため柳川行
1898 (明治 31)	8月日本鉄道会社社長に当選 依願 免宮中顧問官
1907 (明治 40)	日露戦争の功により旭日大綬章授賜
1915 (大正 4)	4月枢密院顧問官 貴族院議員辞任
1923 (大正 12)	9月関東大震災で駿河台邸全焼 12 月授旭日桐花大綬章・枢密院顧問官 依願免本官
1926 (大正 15)	恩賜金で鳩杖をつくる
1935 (昭和 10)	11月30日熱海小嵐で死去 (93歳)

主な展示品



恩賜金時計 明治24年宮中顧問官となり御教養主任を免ぜられた際、皇太子から賜った。



仏国留学中父上御手紙 長男祐邦のフランス留学の間の書簡をまとめたもので、手紙は168通に及んだ。



正本自叙伝 第一篇～追加篇 祐準自身による自伝



曾我祐準肖像 慶応元年長崎で撮影。「上野ニテ写」とあり、日本初の写真家上野彦馬の撮影と思われる。



正服一式 曾我祐準着用。明治19年の陸軍将校服制で定められた陸軍中將の正服

企画展 子爵 曾我祐準

11月30日(水)～2月5日(日) 柳川古文書館／入場無料



柳川出身で軍や政治の世界で活躍した曾我祐準。その遺品が、昨年10月と今年3月、ひ孫に当たる川原敏雄・春子夫妻(静岡県熱海市在住)から市に寄贈されました。これらの紹介を中心として、祐準の足跡を明らかにする展示会を開催します。問い合わせは、柳川古文書館(☎72・1037)まで。

現在の柳川市民会館の場所に「曾我子爵誕生之地」という石碑が建てられたことを覚えていた人もいたのではないのでしょうか。この「曾我子爵」とは、柳川出身の軍人であり、政治家である曾我祐準のことです。

祐準は、天保14(1843)年、柳川藩士祐興の次男として、坂本小路(現柳川市坂本町)に生まれました。(元治2(1865)年、洋式兵学修業を志して長崎へ赴き、慶応2(1866)年から3年にかけて、航海術を学びます。慶応4年、戊辰戦争のさなか柳川藩も蒸気船千別丸を購入すると、祐準は船長を命じられます。その年、新政府の海軍御用掛となって軍人への道を歩み始め、同16年陸軍中將に累進。同17年に子爵が授けられました。明治19年に軍職を離れるまで、近代軍制の創立にかかわりました。

その後、明宮(のちの大正天皇)の御教養主任となり、帝室の典範儀式に関して諮問を受ける宮中顧問官を経て、明治31年から39年まで日本鉄道会社社長を務めます。また明治24年から大正4(1915)年まで貴族院議員としても活躍しました。

その一方で故郷柳川に対しては、旧藩主立花家の家政運営に関与したり、柳川出身者に対する援助をしたりするなど、郷里の発展にも力を惜しみませんでした。柳川古文書館で預かっている立花家の文書や、親友だった吉田孫一郎に關係する文書の中にも、祐準からの手紙が残されていて、そうした姿が浮かび上がってきます。

祐準は昭和10(1935)年93歳で亡くなります。柳川の歴史編さんに携わった岡茂政(1875～1947)は「郷党唯一の崇敬の標的」であり、「権門に媚びず、時流に情せず」という生き方であったと評しています。

今回の展示では、祐準着用の正服や大正天皇(当時皇太子)から賜った金時計、勲章などを展示します。自筆の原稿や手紙からは、几帳面な性格をうかがうこともできます。ぜひご来場いただき、郷土が生んだ偉人の足跡にふれてみてください。

会期などのお知らせ

会期 11月30日(水)～来年2月5日(日)、休館日は毎週月曜日(ただし月曜日が祝日の場合は翌日)と12月28日～来年1月4日
時間 午前9時30分～午後4時30分(入場は午後4時まで)
会場 柳川古文書館(隅町)
展示解説会 12月3日、24日、来年1月15日、29日(時間は、いずれも午後2時から30分程度)
特別休館 展示替えのため、11月28日(月)と29日(火)は休館です。

第18回柳川市史歴史文化講演会

日時 来年1月7日(土)、午後1時30分～午後5時
会場 あめんぼセンター2階AVホール
テーマ 曾我祐準とその時代
講演 東京大学史料編纂所の保谷徹教授の「戊辰戦争と柳河藩」、青山学院大学の小林和幸教授の「貴族院議員としての曾我祐準」(入場無料)